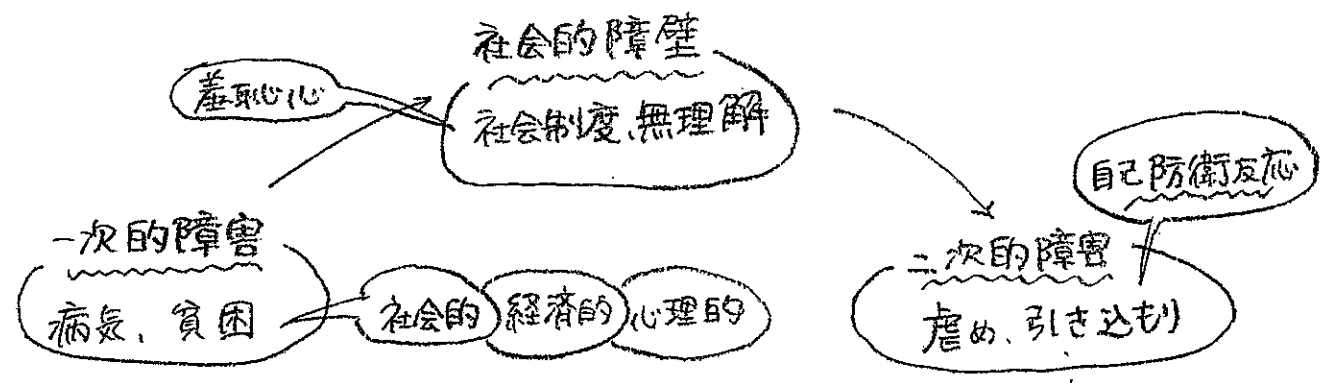


非日常から日常へ

- はじめに
 - あなたは、子どもですか、大人ですか？ 健常者ですか、障害者ですか？
 - その違いは、どこにあるのでしょうか……。
 - あなたの周りに、困っている方はいらっしゃいませんか？
 - あなたは、困っていませんか？
 - 少しでも、隣を見てみて下さい。しゃがんでみて下さい。
 - 笑顔に隠された SOS、哀しみ、外に出して頂きましょう。
 - そうして、受け入れましょう。私たち皆で。変えましょう、おもいやりで。

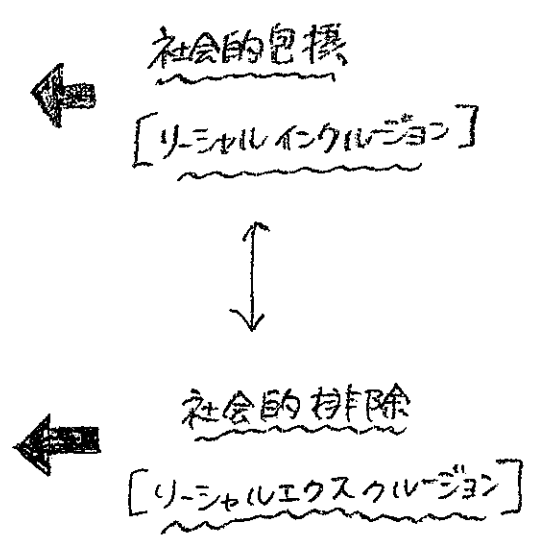
● 孤独と孤立の背景



< 区別と差別 >

区別 (ご本人と適切な支援とのマッチングのためのプロセス(過程))
 結果 → ご本人とご家族、ご友人など多くの人が **生きやすくなる**

差別 (ご本人に対する否定 ※ 知らないうちに **人格** まで否定している)
 結果 → イジメ、虐待、**心理的貧困**



～あなたへのラブレター～

- なぜ差別が起きるのか
 - 無知** (知らないから)
 - 何を？ — 障害、貧困、その人のこと
 - ↓
 - 空き家を活用して、自分と異なる色を持った人に触れ、**疑問点**を抱くことを始めとし、**理解**し、相手に歩み寄り
 - 効果 → **相違点**を認め、笑い合える **多様性**の暮らしの **常態化**

● 空き家活用

< 目的 >

- ・気軽に立ち寄れる「安心どころ」
- ・経験を超えた「触れ合い」の中の「生き延びる」

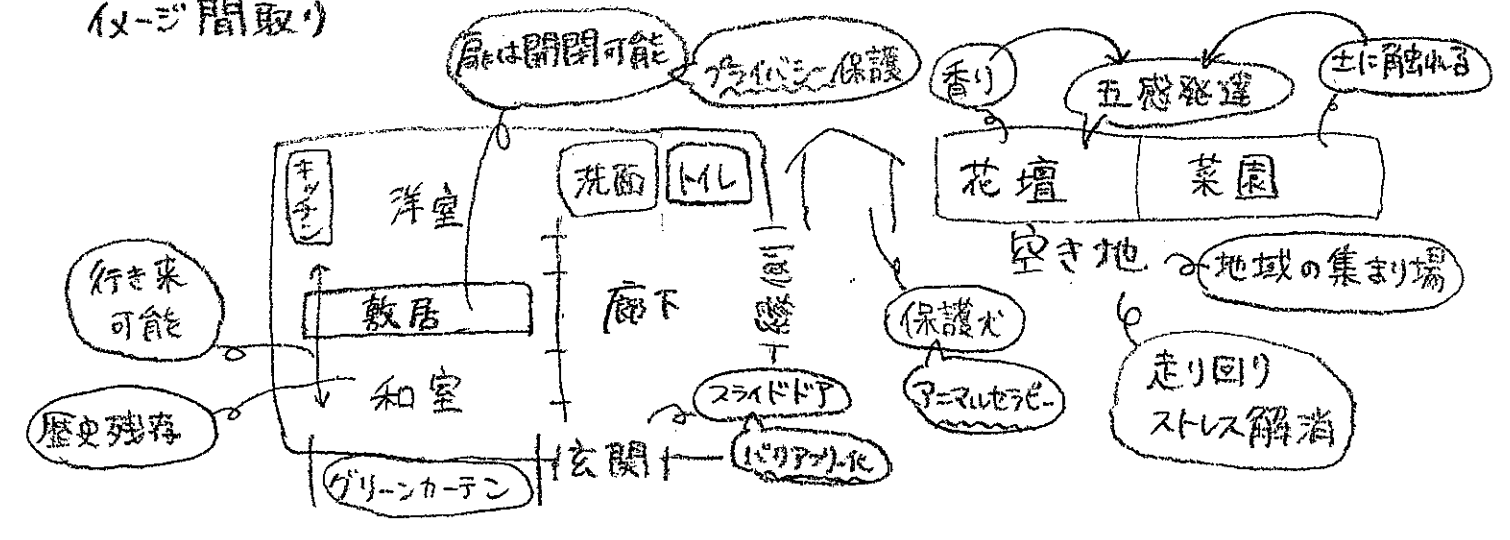
< ステップ >

1. 同じ空間にいる緊張感を知る
2. 遊んで知って距離感が縮まる
3. 同情(共感のために必要なプロセス)
4. 尊重で当たり前前に助け合い

< 空き家例 >

住所 鹿児島県姶良市豊留

イメージ間取り



● 『みんなのおうち』

< 空き家の内側 >

- ・看護師、介護士常駐
- ・リチャルワーカー、ボランティア
- ・自然由来のクレヨンや絵の具 < 壁面アート
- ・皆の思い出で埋め尽くす
- ・曜日、時間ごとに変わる芸術ワークショップ

< 地域巻き込み隊 >

- ・月に1度の小イベント
ex) エアロニアター、創作紙芝居、音楽祭
サインランゲージday、ボティランゲージ大会、ゴミ拾いゲーム
- ・半年に1度の大会イベント
ex) 高齢者施設への訪問、ミニ劇場、ミニフェス、交流会

● 芸術の意義

1. 感情表現のツール(手段)
2. 自分自身の気持ちの気づきへの促し
3. 他者理解(聴く力、観る力)の全人的育ち
4. メンタルヘルスケア

● お約束

- ① 何も、誰も傷付けない
- ② 自分のことも、隣の人のことも、1日5回褒める

● これからの課題

- ① 資金について
(案)クラウドファンディング、財政活動、ほし(信頼性は?)
- ② 空き家について
面積、耐久性、立地、駐車場、部屋数、庭
保険、バリアー、補修工事などの必要性
安全確保(鍵、高さ、安全網など)、地域性(人、集会、場所)
- ③ 料金について
(案)無料、1日あたり50、100、300、500、1000円
- ④ 絵本やぬいぐるみ、必要用品について
(案)寄付、フリーマーケット
- ⑤ 1日当たりの定員
高齢者、障害者、児童... それぞれ何名ずつ? 不定?
- ⑥ 広告・宣伝
(案)宣伝car、SNS(ホームページ)、ラジオ、TV、ポスティング、回覧板
ポスター、チラシ配布、設置(学校、店舗、歯医者、市役所など)
- ⑦ スタッフ待遇 < 労働環境整備 >
ボランティアは有償? 無償?
看護師や介護士の給与は? → 問題点
モチベーションの保持とサービスの質
- ⑧ 保険
怪我などに対するリスク予防
- ⑨ 持続性
運営費用は?

● 地域住民との信頼関係 [ラポール] 形成
3ヶ月単位の アラトリーチ

読み聞かせ、レクリエーション → 学校、敬老会、病院 など
出向く

顔の見える、
声の聞こえる関係づくり